

## 外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況		
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況			
26	各種スポーツ教室開催事業	生涯学習課	廃止	参加者が少なく、魅力的なメニューがない。	廃止	平成27年度から、一旦、事業を廃止しました。	◎		
				参加後の継続的な活動に貢献しているか不明である。					
				以上のことから、一旦廃止して、事業を再構築してほしい。					
26	自然体験教室事業	生涯学習課	廃止	再構築の際には、水泳に特化せず、体育協会や民間企業、その他NPO団体と連携して、各種教室を検討してほしい。また、効率性を高めてほしい。	廃止	スポーツ推進委員に、水泳教室以外のプログラムを考えていただけるようお願いしています。	○		
				事業内容を教室開催に留めず、参加後の後続活動まで視野に入れること。		総合型スポーツクラブ等既存クラブとの連携を検討しています。			
				参加者が少なく、魅力的なメニューがない。		平成27年度から、一旦、事業を廃止しました。		○	
26	社会教育委員の会議開催事業	生涯学習課	見直し	参加後、子どもの成長に貢献しているか不明である。	見直し	委員の枠に家庭教育部門が加えられたため、委員の構成を再構築し、削減の検討を進めます。	○		
				以上のことから、一旦廃止して、事業を再構築してほしい。				これまでの検証を早急に行い、再構築に当たってのスケジュール等を検討していきます。	△
				再構築の際には、NPO団体等と連携して、もっと効率性を高めてほしい。					
26	社会教育委員の会議開催事業	生涯学習課	見直し	社会教育委員の役割と責任を明確化してほしい。	見直し	委員の枠に家庭教育部門が加えられたため、委員の構成を再構築し、削減の検討を進めます。	○		
				毎回の会議の目的をはっきりさせ、会議の成果を明確にすること。				社会教育委員の会議には、社会教育諸計画の立案のほか、市の社会教育を推進するための課題を自ら建議し、市民に発信していくことを求めています。今後も、委員の方にはその役割を意識していただき、社会教育に関わる責任のある提言を行うよう働き掛けていきます。	○
				社会教育委員は、社会教育に関わる責任のある提言を行うよう努めてほしい。					
26	社会教育委員の会議開催事業	生涯学習課	見直し	生涯学習関連の審議会等の関係性を明らかし、当該会議の役割を明確にすべき。	見直し	委員の枠に家庭教育部門が加えられたため、委員の構成を再構築し、削減の検討を進めます。	○		
				社会教育委員は、社会教育に関わる責任のある提言を行うよう努めてほしい。					

## 外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	生涯学習推進事業	生涯学習課	廃止	本事業の趣旨には賛同するが、現状の事業内容では、趣旨とかけ離れており、大きな改善も見込めないことから、一旦廃止とする。	廃止	平成27年度から、一旦、事業を廃止しました。	◎
				但し、生涯学習推進事業として、現在の事業とは別の形で、事業名にふさわしい事業を新規に立ち上げてほしい。		社会教育委員の会議で、平成29年度の後半を目途に事業の再開を検討しています。	○
26	守谷市美術作家展事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業、もりや夢の舞と響事業、文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに、守谷市の全体的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	直接の事業統合はできなくとも、一体的なプロモーションができるよう、それぞれの実行委員会に働き掛けていきます。また、今後は、プロの展示を見てもらうだけでなく、ワークショップなどを検討して、出展する人・見る人の両方が楽しめるイベントを展開していきます。	△
26	守谷市夢の舞と響事業	生涯学習課	統合	芸術祭事業、もりや夢の舞と響事業、文化協会補助事業などとの統合により事務作業の効率化を図るとともに、守谷市の全体的な一大芸術イベントとして一体的にプロモーション戦略が練られるべきである。	見直し	直接の事業統合はできなくとも、一体的なプロモーションができるよう、それぞれの実行委員会に働き掛けていきます。また、今後は、プロの演奏を聴いてもらうだけでなく、ワークショップなどを検討して、演奏する人・見る人の両方が楽しめるイベントを展開していきます。	△
26	スポーツ・文化振興奨励事業	生涯学習課	見直し	顕著な功績を挙げた市民に対する顕彰事業としては継続する。また、他の顕彰事業との公平性・一貫性を考慮することが必要	見直し	スポーツ少年団に対する交通費等の助成をスポーツ少年団補助事業に組み入れ、透明性の確保を図りました。	◎
				ただし、新規事業として立ち上げる生涯学習推進事業の中にスポーツ・文化振興奨励事業として、統合すべき。		生涯学習推進事業の再構築と併せて、平成29年度の後半を目途に検討していきます。	△
				この新規事業においては、スポーツや文化に親しむ市民を増やすという裾野拡大の方向をしっかり打ち出してほしい。		国体に合わせたスポーツの普及を検討しています。	△
26	いばらき若者塾参加補助事業	生涯学習課	廃止	事業実績がない。	廃止	平成27年度から廃止しました。	◎
				若者にとって魅力的な事業ではない。			

## 外部評価進行管理事業一覧（外部評価に係るフォローアップ参考資料）

※（進捗状況）◎：完了，○：取組中，△：取組予定

評価年度	事業名	担当課	外部評価		市の方針		進捗状況
			提言	根拠及び対応	判断	提言に対する市の取組状況	
26	大野地区公民館運営事業	生涯学習課	廃止	他地区住民との公平性が保たれていない。 廃止はできるだけ速やかに行っていただきたい。 老朽化した施設維持の追加支出は認められない。 各自治会の集会所が整備されている。	見直し	平成28年度から講座事業の予算は廃止します。現在ある施設を大規模修繕が必要になるまで使用していく方針ですが、大規模修繕が必要になった際の施設の取扱いについては、地域の運営協力員と協議して、平成29年度までに方向性を出せるように検討していきます。	○
26	守谷市・常総市・坂東市ハンドボール競技振興会負担金	生涯学習課	見直し	市民にとって、この事業を行うことでどのようなメリットがあるのか説明すべき。	見直し	「する」「見る」「支える」それぞれの視点で国体を盛り上げていけるような体制を作り、ボランティアスタッフとして参画することで、市民相互の交流や市民活動の活性化など、市民にとってのメリットが伝わるようPRをしていきます。	○
				事業目的、成果を明確にすべき。			○
				支出をする以上、監査責任を履行すること。			○